

2009.1.17 くもり 綿向山 ひとり



山頂



竜王山分岐 2

竜王山分岐



911 御幸橋 P 1035-1046 五合小屋 1130 山頂 1132-1141 竜王分岐 (スノーシューへ) 1156-1205 北尾根竜王分岐 1250 三合林道 1259 水木谷林道 (地点①) 1307 奥ノ平 (地点②) 1336 竜王登山口 1351 地点④ 1400 御幸橋 P



地点①標識



同左 地図

晴れた綿向をとということで、期待して出発したが、結果的にはくもりですっきりした景色をみることはできなかったが、気になっていた水木谷林道や奥ノ平、北尾根からな綿向山などいくつかの収穫があった。

行きは滑り易そうな道ゆえ、水無山への分岐にある小屋でアイゼンをつける。五合の小屋で山友に出会う。1/4にも会っている山友だ。6合目あたりから乾いた雪となり、木のも雪が付いていた。小屋から1時間で山頂につく。雨乞や鎌は見えない。南の方の仙ヶ岳は見

えた。



地点② 北参道コース



地点⑤ 車通行止め



地点③ 竜王登山口



地点④ 水木谷林道の始点

竜王分岐でスノーシューに履き替え、北尾根を進む。踏み跡はあり、不安はない。振り返ると、綿向がどーんと見える。東尾根の雪景色もいいのだが、曇り空ゆえ、写真もファイトがいまひとつ。竜王への下りの分岐に到着。東斜面で休憩中のひとりが竜王に向け出発した。行きたいのだが、初めてのコースゆえ、止める。綿向に戻っていくと、ふたり連れに会う。竜王に行くのだろう。スノーシューのまま綿向を下る。快適だ。スノーシューにも慣れてきた。N会の事務局のひとにも会う。1/4もふたり、今日もふたりの山友だ。

3合目の林道に踏み跡があったので水木谷林道に向かう。地点①で北参道の標識と周辺の地図。奥ノ平方面にも踏み跡があったので、ひょっとして、5合の小屋にいけるかもと期待する。が、林道から山道にはいるところで踏み跡なし。戻ったようだ。

水木谷林道をスノーシューで快適に下る。

北尾根にいたり、林道経由で帰るなど、余裕がでてきた。もっと綿向を楽しみたいと思う。

